広島湾さとうみネットワーク

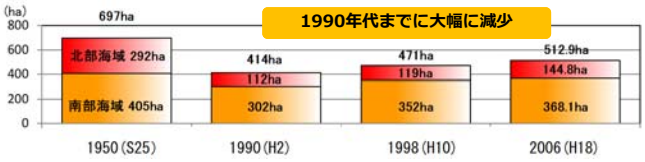
干潟再生プロジェクト

メンバー
山本・曽我・林・田頭・神尾・山田・藤森

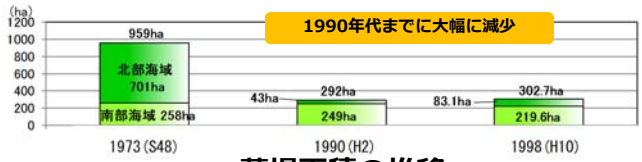
広島湾の現状

広島湾では、かつて広い範囲に干潟や藻場が分布していましたが、最近では広島湾の北部を中心に、その面積が大幅に減少しています。

また、干潟や藻場（海藻）をすみかとする魚介類の漁獲量も大きく減少しています。



干潟面積の推移

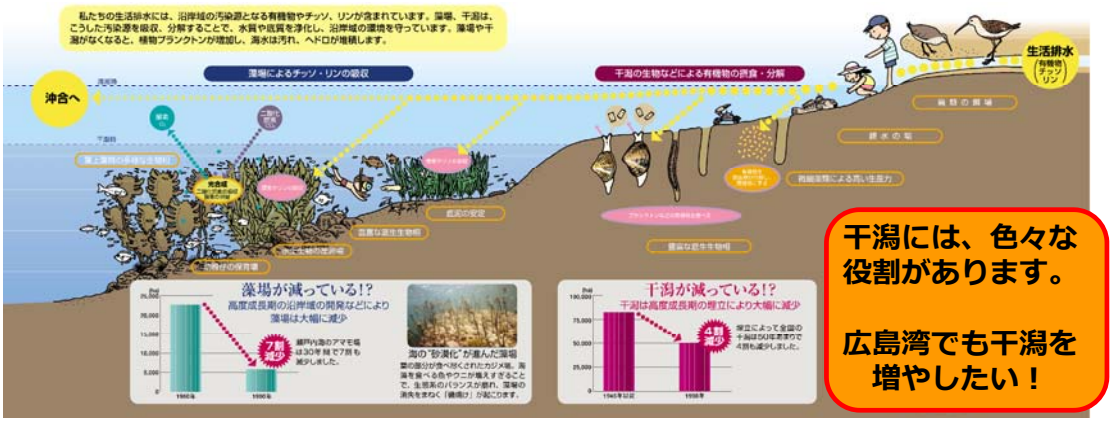


藻場面積の推移

干潟の役割

干潟には、海水の汚れをきれいにしたり、魚介類のすみかになるなどの役割があります。

干潟にすんでいる生き物は、水をきれいにしたり、汚れた泥をきれいにする役割があります。



出典）ゆたかな自然、やすらぎに満ちた里海づくり　水産業・漁村の多面的機能、水産庁漁政部企画課

干潟再生プロジェクトの取り組み

干潟再生プロジェクトでは、八幡川河口干潟で、井口漁協さんの協力のもと、アサリ養殖場整備に取り組んでいます。（干潟の耕耘、ネットの張り替え、稚貝放流など）

また、干潟改良材（肥料）を設置し、アサリの成育状況の稚貝について調べる予定です。

また、広島湾さとうみネットワークのイベントでは、干潟の干満を再現した水槽の展示やアサリ水質浄化実験、干潟の生き物との触れ合いなど、干潟の役割を知ってもらうための展示や体験も実施しています。

八幡川河口干潟でのアサリ養殖場整備

干潟の生き物との触れ合い